

こんにちは

オスプレイ配備拒否 沖縄県民大会に10万3千人

この空は沖縄のもの 日米両政府にレッドカード

米海兵隊の垂直離着陸機MV22オスプレイの配備に反対する沖縄県民大会が9日、宜野湾海浜公園と、宮古・八重山地方で同時開催され、合わせて10万3000人に達しました。沖縄の本土復帰後に開かれた米軍基地関係の県民大会では最大規模となりました。

東京の国会前でも1万人が参加した抗議集会が開かれるなど、本土でも連帯が広がりました。那覇市長は「これだけの反対を押し切って強行配備しようとする日米政府のやり方は、戦後、銃剣とブルドーザーで土地を強制接収したことと何ら変わらない」と強く批判、会場はオスプレイを押し付ける日米両政府への県民の怒りのレッドカードを示す赤色で染まりました。



オスプレイ配備反対の沖縄県民大会に集まった人々

→ 沖縄から連帯あいさつされる仲山忠克弁護士



「米原子力空母は出て行け！」横須賀で集会

横須賀では、米海軍横須賀基地に米原子力空母ジョージ・ワシントン(原子炉2基)が配備されてまもなく4年となる9日、原子力空母の母港化に反対する集会が市内で開かれました。2500人が集いました。

全労連の小田川氏は、地震や津波で原子力空母の原子炉事故が起きる可能性を指摘し「ジョージ・ワシントンは今すぐ出て行け」と訴えました。米空母乗員に妻を殺された山崎正則さんは米兵犯罪や原子力空母の油漏れ事故を批判しました。日本共産党の井上哲士参院議員は、原子力空母母港化もオスプレイ配備も日本を米軍の訓練・出撃基地にしようとするもので、根っこに日米安保条約があると指摘。「安保を問う国民的議論を」と呼びかけました。

もうひとつの好敵手のオニヤンマは、その大きさといい、腹部の「虎縞模様」といい、まさに「大王」といえます。また、その飛翔は豪快そのもの、夕刻の路上を敏速に往復し、ネットを何う振っても捕獲は難しいものでした。路上を高速で往復するので、何度か空振りした後、やっと網に入れたときの手応えは大きなものを感じました。更に、網の中の大きな胴体を掴んだ時の感激は捕らえたものだけの喜びです。

この2種の大型ヤンマは、まだ、この辺りに生き残っているのでしょうか？
もう、ネットを振ることはしませんから、まだいるようなら、安心して、好きなだけ飛びまわって欲しいものです。

東戸塚周辺は、谷間の集落が多かった故、沢や小川はあちこちにあり、灌漑はそれで充分で溜池を作る必要がなかったことに由来します。

夏も盛りの暑いさなか、田の上を時折、青い複眼と緑の腹部を誇らしげに披露しながら力強く飛翔する様は、トンボの王様の感がありました。

いつも悠々と滑空していて、幼い私が力いっぱい振る貧弱な捕虫網の中には決して入ることなく飛び去って行きました。子供心にも、このヤンマにはとてもかなわないという敬服感だけ残りました。



郷土のトンボ ギンヤンマ

この辺りでは、同じヤンマ仲間のオニヤンマに比べ、ずっと稀な大型トンボでした。理由は簡単、オニヤンマは溪流で育ち、ギンヤンマは溜池で育つからです。

歴史散歩

⑦ 川上小学校・北部分校

旧東海道の品濃坂を下り、ほんの 50m程歩いた左側にその学び舎がありました。教室一つ分の平屋の校舎がそれであり、生まれて初めて教育というものに接する神聖な場所でした。

戦後のベビーブームで品濃、平戸近隣の生徒が集まって、全部で 40 人、殆どが地元で根ざす子女でした。校舎の前は道路を挟んで田圃、裏は雑木林と、横浜とはいえとんでもない「田舎」のものでした。生徒の実家はほとんどが農家で、自給自足と言えは聞こえはいいですが、どこもその日暮らしの貧困家庭、破れた服や、穴のあいた靴と靴下は当たり前、学用品さえ満足に揃っていませんでした。

なつかしい思い出がいっぱい

それでも、皆、分校に来れば、授業が受けられる、多くの友達と遊べる、さらに、給食という「ごちそう」があって、みんな生き生きとしていました。当時、ラジオ、その後テレビドラマになった名作「三太物語」と同じ世界でした。

担任は数年前に亡くなった女性の武之内先生、家も近くにあつて、授業開始が待ちきれない女子生徒達が、よく途中まで迎えに行っていました。優しい人柄と分かり易い教え方でみんなに人気がありました。休み時間は、皆、書架の絵本を読んだり、運動場を走り周りたりと、それぞれ楽しんでいました。

この分校は 1968 年まで続き、その後は取り壊されて地主に土地が返還され、売却されたようです。現在では見るも無残、校舎や運動場があった上を道路の橋桁が跨ぎ、昔の面影はありません。



分校の跡形もなく(坂下バス停付近)

当時、川上小学校の本校は現在の柏尾バス停近くにあり、2年生から道草を食いながら 1 時間位かけて本校に通いました。南部分校が舞岡にありました。

今年も楽しく ぶどう狩り

9/2・3日、日本共産党戸塚区後援会主催で、山梨・牧丘へ恒例の「ぶどう狩り」に行きました。バスで雨の東名、東富士、中央高速をかけ抜け、牧丘に到着。牧丘では雨が上がり「ぶどう狩り」が出来ました。

糖度 21%の巨峰を食べ 2 キロをお土産に持ち帰りました。



甘くておいしい巨峰がいっぱい

「橋下・維新の会」国政への野望

「日本の政治で一番重要なのは独裁」と公言する橋下市長。民主主義とは無縁の態度ですが、テレビや新聞の一部は「リーダーシップがある」「決断力が優れている」ともてはやしています。

しかし肝心なのは「決める政治」の中身です。橋下市長が持ち上げた野田首相の消費税増税推進は、国民から怒りを買って、首相自身が「国論が二分している」と認めざるをえない状況です。

庶民いじめの施策ばかり

大阪で橋下市長が推し進めていることも同様です。教育基本条例、職員基本条例、大阪市職員の政治活動禁止条例など民主主義を踏みにじる恐怖政治。市営地下鉄・バスの敬老パス一部有料化など福祉や暮らしの切り捨て…。すべてが庶民いじめの施策ばかりです。

元朝日新聞大阪本社編集局長の新妻義輔さんは、「橋下氏が『決定できる民主主義』などと強調するのは、議論を尽くすことよりも反対意見を切り捨てて多数決に大きな比重を置きたいから。結局、自民党政権時代から国会で使い古された『数の横暴』を『決定できる民主主義』と目新しい言葉で言い換えたにすぎない」と批判し、「橋下流の『民意』は本当の民意とは無縁だ」と指摘しています。

岩崎ひろしのなんでも相談

岩崎ひろし事務所では、なんでも相談を行っています。法律、医療、税金、労働、建築、地域要求、生活の問題など、いろんな分野の専門家のスタッフが協力して相談にあたっています。

電話 865-0074 FAX 865-0594

ほっと戸塚・市議員 岩崎ひろし事務所

住所 戸塚区上倉田町509-1

階段が使えない

東戸塚駅西口、東急の3階に小児科や眼科などのクリニックや、区民活動センターなどがあります。3階に行き来するのはエレベーター1基のみです。非常階段がありますが、鍵がかかっているため使えません。

12時過ぎになると、小さい子を持つ親子や、活動センターからでて来る人など、エレベーターを待つ人でいっぱいになります。問い合わせに行きましたが、住民がマンションのほうに入ると困るということで階段に鍵をかけているそうです。

階段を使えるようにしてほしい。